



4 国有林野の活用

4 国有林野の活用

(1) 国有林野の活用の適切な推進

国有林野の貸付け

農林業をはじめとする地域産業の振興、住民の福祉の向上等に貢献するため、地方公共団体、地元住民の皆さん等に対して国有林野の貸付けを行っています。

平成18年度末現在で約8万haを貸し付けており、その内訳は、農地や採草放牧地が約2割、道路、電気、通信、ダム等の公用、公共用または公益事業用の施設用地が約5割を占めています。

表 - 20 国有林野の用途別貸付け状況

(単位：ha)

区 分	平成18年度	(銚)平成17年度
農耕・採草放牧地	11,719(15)	11,465 (15)
道路敷	15,023(20)	14,721 (19)
電気・電気通信事業用地	15,519(21)	15,558 (21)
ダム・堰堤敷	3,281(4)	3,305 (4)
鉱業用地	982(1)	1,049 (1)
森林空間総合利用事業用地	8,445(11)	8,601 (11)
その他	20,729(27)	20,984 (28)
合 計	75,699(100)	75,713 (100)

- 注：1 貸付け面積は、各年度期末現在の数値である。
 2 平成18年度の実績は、見込み値である。
 3 ()書は、合計に占める用途別の比率(%)である。
 4 計の不一致は、四捨五入による。

事例 国指定の史跡の維持、保存のための国有林野の貸付け

鹿児島森林管理署では、歴史的に重要で遺跡群の残存状況が良好であることから平成19年2月に国から史跡指定を受けた「カムイヤキ陶器窯跡」が所在する国有林約0.6haについて、今後も史跡が適切に維持、保存されるとともに、地元伊仙町の郷土学習の場や観光拠点として活用されることとして、同町教育委員会に貸し付けました。

(九州森林管理局 鹿児島森林管理署)



場 所：鹿児島県大島郡伊仙町 阿三国有林
 説 明：写真は、カムイヤキ古窯跡群から出土した陶器等（左上）と貸し付けた国有林（右下）の様子です。

林野・土地の売払い

庁舎、宿舍等の敷地については、国有林野事業の遂行に不可欠なものを除いて可能な限り売り払うことにしています。平成18年度には、23ha、46億円を売り払いました。

また、森林、苗畑・貯木場の跡地等については、地域産業の振興や住民の福祉の向上等に必要な場合、公益的機能の発揮等に十分配慮しつつ売り払うことにしています。平成18年度には、ダム用地や都市住民のための緑地等として、903ha、40億円を売り払いました。

なお、売払いに当たっては、ホームページや新聞広告等を活用して公売物件に関する最新情報を不動産業界等に提供するなど、様々な販売努力を行っています。

表 - 21 林野・土地の売払い状況 (単位: ha、億円)

区 分	平成18年度		(参考)平成17年度	
	面積	金額	面積	金額
林 野	903	40	911	37
土 地	23	46	28	95
計	927	86	939	132

表 - 22 林野の用途別売払い状況 (単位: ha)

区 分	平成18年度		(参考)平成17年度	
所管換・所属替	671	(74)	560	(61)
公用・公共事業用	127	(14)	161	(18)
産業振興用	36	(4)	94	(10)
その他	69	(8)	96	(11)
合 計	903	(100)	911	(100)

注：1 ()書は、合計に占める用途別の比率(%)である。
 2 「所管換」とは、他省庁への売払い、「所属替」とは、農林水産省内の他部局への売払いのことである。
 3 計の不一致は、四捨五入による。

事例 都市住民のための緑地としての国有林の売払い

東北森林管理局では、市街地にグリーンベルト状に残された国有林を、仙台市からの要請を受けて売り払いました。

当該地は、都市計画による風致地区にも指定され、ケヤキやヒノキが生い茂る市民の憩いの場として「台原緑地」の名称で親しまれており、今後、市では、この貴重な森林を市民の保健休養やレクリエーションの場として一層活用することとしています。

(東北森林管理局)



場 所：宮城県仙台市青葉区
 説 明：写真は、売払箇所の遠景（左上）と林内（右下）の様子です。

(2) 公衆の保健のための活用の推進

国有林野事業では、優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林を「レクリエーションの森」として設定し、国民の皆さんに提供しています。

平成18年度には、延べ約1億4千万人の方々に利用していただきましたが、これからも利用者ニーズに即した魅力あるフィールドとして活用いただけるよう、リフレッシュ対策に取り組んでいます。

このほか、「レクリエーションの森」では、利用者の方々に自主的に協力していただいている「森林環境整備推進協力金」も経費の一部として活用しつつ、国民の皆さんが快適に利用していただけるよう、森林や案内板・歩道等の整備、美化清掃、パンフレットの作成等を進めています。

事例 「レクリエーションの森」リフレッシュ対策の推進

岐阜森林管理署では、自然観察や散策の場として市民に親しまれている岐阜市の金華山周辺の国有林をより魅力あるフィールドとして提供していくため、岐阜市や森林ボランティア団体と連携した取組を行っています。

平成18年度は、登山道周辺の清掃美化活動や歩道の整備などを行うとともに、利用者のマナー向上や森林・自然環境の役割・重要性を知ってもらうための森林教室の開催など普及啓発活動に取り組みました。

(中部森林管理局 岐阜森林管理署)



表 - 23 レクリエーションの森の設定状況及び利用者数

レクリエーションの森の種類	箇所数	面積 (千ha)	利用者数 (百万人)	代表地
自然休養林	90	105	27	高尾山、赤沢、屋久島
自然観察教育林	164	31	16	箱根、軽井沢、上高地
風景林	531	181	45	摩周、嵐山、宮島
森林スポーツ林	63	7	1	風の松原、扇の仙、西之浦
野外スポーツ地域	218	52	32	南蔵王、玉原、苗場 <small>たんぼら</small>
風致探勝林	122	22	18	層雲峡、駒ヶ岳、穂高
合計	1,188	398	139	

注：1 箇所数及び面積は、平成19年4月1日現在の数値であり、利用者数は、平成18年度の数値である。

2 計の不一致は、四捨五入による。

場所：岐阜県岐阜市 金華山国有林

説明：写真は、ハイキングコース上のハシゴ階段の設置（左上）と登山道の清掃美化活動（右下）の様子です。